



連絡先

山本邦夫(982)8844 巖 博(982)9663
亀田優子(982)1277 中村正公(983)8312
澤村純子(983)6275

新型 コロナウイルス対策

市民の不安解消を 3月議会で日本共産党

日本共産党は3月の京都府、八幡市議会で暮らしとまちづくりをテーマに質問しました。新型コロナウイルス対策では、検査体制の強化、市民の不安解消を迫りました。

市民にマスク提供を

亀田優子市議は6日の八幡市議会一般質問で、新型コロナウイルス対策を質問。市役所には防災備品としてマスクを備えているが、マスクを買うため朝6時半から店頭で並ぶ人もいます。保有するマスクを市民に提供したらどうかと質問。市は、備品として6万枚保有していたマスクのうち、「高齢者施設、保育所などに1万5000枚を配布したが、施設からの要望もある。今後を考えると市民に配布する余裕はない」と答えました。

森下よしみ京都府議 子どもの相談体制を

森下よしみ京都府議会議員は9日の府議会予算委員会で、新型コロナウイルス対策について、一律休校に関連し、相談体制にスクールカウンセラーも視野に入れ、「いつでも困ったときに、子供たちのSOSを受け止められる体制をつくってほしい」と提起しました。

これに対し担当課長は、「スクールカウンセラーは通常通りの勤務で、必要あれば相談にのれる」と答えました。

新型感染症対策で意見書 採択

八幡市議会は12日、ウイルス感染症対策の強化を求める意見書を採択しました。

まちづくり、介護の充実などで質問

男山にエレベーター URに増設を求めよ

山本邦夫市議は6日の本会議で男山のまちづくりで質問しました。

男山団地でUR都市再生機構は、この1年間で合計17基のエレベーターを設置しました。山本市議は、URの来年度の設置計画には男山団地が含まれていないことを指摘し、URに要請するよう求めました。市は、団地のA地区からD地区にかけてバランスよく配置されるよう、ひきつづきURに要請していくと答えました。

あんしんサポートハウス 2か所目の開設を

中村正公市議は9日の本会議で、介護保険のケアハウス・あんしんサポートハウスの増設を求めました。

京都府の補助を受け、八幡市にサポートハウスができて4年。中村市議は、高齢化が進む中、新たな施設の設置を求めました。市は、「あんしんサポートハウスのニーズは高い」と答弁し、2021年度からの8期計画に向けた議論の中で位置づけ、「協議していきたい」と答えました。